

令和8年5月11日(月)
香川県危機管理総局危機管理課
南海トラフ地震・防災企画グループ
上神田・福島(内線 2492) 087-832-3241

令和8年度「香川地域継続首長会議」の開催について

香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構から、標題の件について、別紙のとおりプレスリリースがありましたのでお知らせします。

1. 日 時 : 令和8年5月18日(月) 13:00~14:30
2. 場 所 : マリンパレスさぬき 2階 瀬戸AB
(香川県高松市福岡町2丁目3-4)
3. 参加機関 : 香川大学、国土交通省四国地方整備局、四国経済産業局、県内17市町、香川県

令和8年5月11日

令和8年度香川地域継続首長会議の開催について

今年の12月21日は、昭和南海地震から80年の節目にあたります。また、先月は熊本地震発生から10年の節目でもありました。

南海トラフ巨大地震が発生すると、広域にわたって大きな被災をうけることとなります。昨年9月には、香川県の被害想定の見直し結果が公表され、災害関連死を含め、前回の想定よりも1,600人増えて最大7,800人になると想定されています。また、全壊の家屋被害想定も増加しているとのことでした。

このように、地震による広域災害発生の危険が迫りつつある中で、香川県内での防災・減災対策を強固にするためには、県内17市町が、最新の被害想定に基づき、地域防災計画の見直し、業務継続計画策定をはじめとした地域防災力向上を、さらに推進する必要があります。

そこで、県内17市町の首長を中心に、国・県の行政機関及び大学が連携し、今年度も「香川地域継続首長会議」を開催します。

本会議では、香川県の地域継続力の向上を図り、四国の緊急災害対策拠点としての機能を発揮することを目指し、金田義行特任教授および長谷川修一特命教授による講演を行い、その後、「新たな香川県地震・津波被害想定公表に伴う取組み」をテーマに、各首長との意見交換を行います。

つきましては、是非取材くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

1. タイトル：令和8年度香川地域継続首長会議
2. 日 時：令和8年5月18日（月）13：00～14：30
3. 会 場：マリンパレスさぬき2F 瀬戸AB（香川県高松市福岡町2丁目3-4）駐車場有
4. 参加機関：香川大学、国土交通省四国地方整備局、四国経済産業局、香川県、高松市、丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市、三豊市、土庄町、小豆島町、三木町、直島町、宇多津町、綾川町、琴平町、多度津町、まんのう町（8市9町）
（※当日、上田香川大学長も出席します。）

※本会議は非公開です。傍聴はマスコミ関係者のみとなります。



取材申込はこちらから↓



- お問い合わせ先
- 香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 三好
TEL：087-832-1651
E-mail：miyoshi.masaaki@kagawa-u.ac.jp
- 香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 谷
TEL：087-832-2544
E-mail：tani.aya@kagawa-u.ac.jp